

◆◆ 読者プレゼント ◆◆

抽選 5人 ふじの輪組そば粉1袋 (1kg)



応募方法 はがき、または市HP応募フォームに住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙の感想や要望を書いて応募。商品は市役所で受け取り
締切 8月25日(水)必着
宛先・問合せ 〒378-8501 沼田市下之町 888 秘書課 広報聴係 ☎内線 4006



ぬまたブランド農産物生産者 ③

夏ソバ栽培 寒暖差とミツバチが決め手

藤井美智男さん ー利根町輪組ー



ソバ栽培としては全国的にも珍しい、夏と秋の二期作に取り組む。標高750メートルの高地で昼夜の寒暖差を生かした栽培に加え、ミツバチ60万匹で受粉させて実りを豊かにする。

栽培歴35年で、5年前から夏ソバを始めた。早生で多収の秋田県のブランド「夏吉」を栽培し、5月にまき、7月に収穫する。風味を壊さないように乾燥させ、時間をかけてひくことで、そばの風味が豊かになる。ソバは風雨に弱いことから、収穫時期を見極めることも重要という。

平成28年度全国そば優良生産表彰を受賞。「賞は日々の励み。子どもや孫もソバを学ぶようになり嬉しい」と話す。学校の総合学習などでも指導する。

ぬまたの旬をクッキング No.10
そばクレープと豆乳のトマトグラタン

利根実高生の開発商品。そば粉を洋風に仕立てました。クレープからとろけ出るチーズとホワイトソースが最高



クックパッドでレシピ公開中
 沼田市クックパッド 検索



地域おこし協力隊だより No.10

稲の成長 オーナー見守る

高津修

2019年11月に東京から沼田に移住し、1年9カ月が経ちました。地域おこし協力隊の任期は3年間。既に折り返し地点を過ぎ、時の早さを感じています。日々の活動が悔いのないものであるか常に自問自答していますが、思い返して後悔しても、そのときはそれが精一杯だったのだと、自分をなだめることも必要と考えています。

盛り上がり始めた棚田オーナー制度は、活動への理解者が徐々に増えてきています。今年は5月

にリモート配信での田植え、7月にはオーナー30人が参加し、稲の成長過程を記録する観察会やホテルの鑑賞などの交流をしました。

今後は新たな活動にも取り組み、事業化に注力しなければなりません。同時に退任後の自分の経済活動についても本気で取り組んでいきます。市には「ぬまた起業塾」という素晴らしい学び舎が用意されているので、しっかり勉強を進めながら、ぬまたライフをさらに楽しめるように、自分磨きも大切にしていきたいと思えます。



観察会に集う棚田のオーナー

問合せ 観光交流課交流推進係 ☎内線 5031

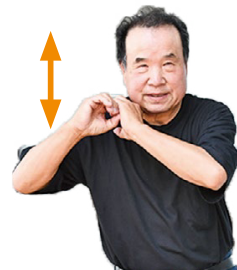
チャレンジ 手話



「⑩沼田まつり」



天狗の鼻を作る



体を上下に揺らしてみこしを担ぐ

手話を身近に

手話に親しめるように、毎月紹介します

動画をチェック 応用編に挑戦



問合せ 社会福祉課障害福祉係 ☎内線 3109